

「栄光のルネサンスから華麗なロココ」展協賛イベントのお知らせ

■ シネマ尾道から上映会のお知らせ

上映日・料金など詳細なお問い合わせ先 □ シネマ尾道 尾道市東御所町6-2 TEL 0848-24-8222 HP <http://www.cinema-onomichi.com/>

「栄光のルネサンスから華麗なロココ」展の開催にあわせて「画家と映画」と題して協賛上映会を開催します。

□ 宮廷画家ゴヤは見た

上映日：4月11日(土)～4月24日(金)
2006年/アメリカ

監督：ミロス・フォアマン

出演：ハビエル・バルデム、ナタリー・ポートマン、ステラン・スカルスガルド

18世紀末のスペイン。宮廷画家に任命されながら、権力批判と社会風刺に富んだ作品も精力的に制作し続けるゴヤ。彼が手がけた2枚の肖像画の人物-裕福な商人の娘で天使のように美しいイネスと、異端審問を強硬するカトリック教会の神父ロレンソが運命的に出会う。異教徒の疑いで捕えられたイネスを救ってほしいとゴヤに頼まれたロレンソは、拷問を受け牢に繋がれたイネスに面会し、思わず抱きしめるのだった。

□ モンパルナスの灯

上映日：4月18日(土)～4月24日(金)
1957年/フランス

監督：ジャック・ベッケル

出演：ジェラルド・フィリップ アヌーク・エーメ

天才画家モジリアニの愛と苦悩の日々。監督は『穴』のジャック・ベッケル、モジリアニの妻、ジャンヌに初々しいアヌーク・エーメ、冷徹な画商にリノ・ヴァンチュラが扮している。奇しくもジェラルドもモジリアニと同じ36歳でこの作品の1年後に世を去る。

□ 素晴らしき放浪者

上映日：4月11日(土)～4月17日(金)
1932年/フランス/白黒

監督：ジャン・ルノワール

出演：ミシェル・シモン/シャルル・グランバル/マルセル・エイニア/セヴェリーヌ・レルシンスカ/ジャン・ダステ

主人公ブデュは気ままな放浪者。けれど、この世はすでに楽しくない...と一足飛びにあの世行きを因ってセーヌに身を投げた所、河縁の古本屋の親父に助けられ、英雄とされた彼のその家に居候。持ち前の豪胆さで奥方を寝取るが、旦那の情婦だった女中のアンヌ・マリともネンゴロになり、結婚を決める。が、式の当日、舟で河を往くお披露目の最中、川面に浮かぶ蓮の花に手を伸ばし、舟は転覆。山高帽一つ残し、彼はどこぞへ流れ去り、着いた先の畑の案山子の服を頂戴し、みな的心配をよそに、飄々と歩き去って行った。

《市立美術館 展覧会観覧券提示により》※対象上映作品に限り会期中有効

| 映画鑑賞 | |
|--------|-----------------------|
| 一般 | 通常料金1,800円→特別料金1,300円 |
| 学生・高校生 | 通常料金1,500円→特別料金1,000円 |

《シネマ尾道 映画観覧券提示により》※会期中有効

| 展覧会鑑賞 | |
|--------|----------------------|
| 一般 | 通常料金1,000円→特別料金 800円 |
| 学生・高校生 | 通常料金 800円→特別料金 600円 |

■ 第26回さくら茶会

お問い合わせ先 □ 尾道商工会議所女性会 TEL 0848-22-2165

開催日時：2009年4月18日(土) 11:00～16:00

開催場所：千光寺公園

形にとらわれず、誰でも参加できる、毎年恒例の茶会です。野外特設茶席でお点前を披露します。ぜひご参加ください。



栄光のルネサンスから華麗なロココ 展覧会期間限定喫茶メニュー



■ アップフェル クーグルホップ

Apfel Kugelhopp

ルイ16世の王妃マリー・アントワネットの好物であったアップフェル・クーグルホップを、ぜひお召し上がりください。

ドイツとスイスに接したフランスのアルザス地方の伝統菓子です。フランスでは、普通のパンよりバターと卵を多く使ったものをプリオッシュといいます。このお菓子は、プリオッシュの一つで、名前の由来には、ドイツ語のクーグル(球)とホフ(僧帽)が合わさったという説があります。(協カ一任願)

近隣の展覧会情報

■ 広島県立美術館

よみがえる黄金文明展
～ブルガリアに眠る古代トラキアの秘宝～
2月21日(土)～3月31日(火)

■ 岡山県立美術館

「追悼 片岡球子」展
4月29日(水)～5月17日(日)

■ 大原美術館

コレクションテーマ展26
「写真家ととらえた日本人画家たち」
～大原美術館作品とともに～
3月10日(火)～4月12日(日)

■ 愛媛県美術館

畦地梅太郎展
～山のいのち、人のぬくもり～
2月14日(土)～3月29日(日)

■ 島根県立美術館

島根県立美術館開館10周年記念展
アカデミズムか? 印象派か? フランス絵画の19世紀
3月6日(金)～5月31日(日)

■ ふくやま美術館

「没後50年 北大路魯山人展」
～書画・陶芸と美食の全貌～
4月4日(土)～5月17日(日)
※ふくやま書道美術館と同時開催

■ なかた美術館

絵のまち尾道四季展招待作家作品展
2月19日(木)～5月10日(日)

■ 平山郁夫美術館

シルクロード夫婦行
開催中～4月10日(金)

■ 圓鑄記念館

常設展I
4月1日(水)～6月28日(日)

次回展覧会のお知らせ



■ ヘレニズムの華 ペルガモンとシルクロード - 発掘者カール=フーマンと平山郁夫のまなざし -

2009年5月16日(土)～6月28日(日)

ペルガモンとは、アレクサンドル大王の東征以後に始まるヘレニズム時代、アッタロス朝ペルガモン王国(前281-133年)の都としてヘレニズム文化の最も栄えた都市の名前です。ヘレニズム時代は、ギリシア文化が、それまでにない地域的な広がりをもたせた時代でもありました。ギリシア風の文化はやがて仏教と出会い、ガンダーラ仏教美術に結晶します。さらにその流れはシルクロードをへて遠く日本にまで到達することとなったのです。ベルリンのペルガモン博物館「古代美術蒐集館」の協力を得て、未公開資料を含む同館所蔵のペルガモン出土の貴重な資料と、ガンダーラ美術の国内最大コレクションを誇る日本画家の平山郁夫コレクションの優品を紹介します。

ペルガモン大祭壇浮彫りフリーズ頭部 トルコ 前2世紀 大理石 古代美術蒐集館(ベルリン)蔵
SMB/Antikensammlung Staatliche Museen zu Berlin Foto: Johannes Laurentius



マックス・コッホ(ペルガモンの城塞とペルガマの町)水彩 古代美術蒐集館(ベルリン)蔵
SMB/Antikensammlung Staatliche Museen zu Berlin
Foto: Johannes Laurentius

ご利用案内



夜間開館します。桜の開花に合わせて開館時間を、20:00(入館は19:30)まで延長します。
ほんほりの点灯(夜間開館実施中)
夜間開館日：4月3日(金)、4日(土)、10日(金)、11日(土)



「栄光のルネサンスから華麗なロココ展」観覧券と「千光寺山ロープウェイ」往復乗車券のお得なセット販売をご利用ください。
会期中、美術館受付・千光寺山ロープウェイ山麓駅にて販売しています。
大人1,190円、高校生990円

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。
(ロープウェイのりばで、「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。(おのみちバス「千光寺公園」直行便は便数が少ないのでご注意ください。)
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」へ。
(入館の際に駐車券をご提示ください。当日券を1名様に限り200円割引いたします。)
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

